

## 平成28年3月定例議会 町長施政方針

本日ここに、平成28年埴町議会第3回定例会を招集し、平成28年度の予算案をはじめ、関係諸議案の審議をお願いするにあたり、私の施政方針と主な施策の概要について申し上げ、議員各位並びに町民の皆様方のご理解とご協力を賜りたいと存じます。

東日本大震災、そして福島第一原発事故から丸5年になろうとしています。この間、復旧・復興に向けた取組みを、町民皆様といっしょに進めて参り一定の復興は遂げられたと感じております。

国は、経済政策として「一億総活躍社会」を打ち出し、少子高齢化等の日本の構造的な問題に真正面から挑み、日本の未来を切り開く新たな国づくりを目指す、その決意を表明されました。私もその決意を受け、その実現のため、関係機関と協力・連携をして、全力で取り組んでまいりたいと考えております。特に、国が推進する地方創生「まち・ひと・しごと創生・総合戦略」によりまして、「埴町人口ビジョン・地方版総合戦略」を策定し、「埴町第五次長期総合計画」の最終目標である「みんなが主役 しあわせ実感のまちはなわ」を加速・実現させるため、皆様のご協力を得て、官・民一体となった協働のまちづくりを進めて参りたいと考えております。

さて、私が、町政の舵取りを担わせていただくことになってから、丸12年になろうとしています。これまで「公正・中立にして清潔、誠実な町政運営」を基本に町づくりを推進してまいりました。この間、町政を預かる者の責任の重大性を痛感しながら、財政の健全化を目指し、雇用の拡大を図るべく企業誘致の推進、地域資源を活用した産業の振興、教育施設の整備など、安心して暮らせる町づくりを目指して参りました。今年度（平成28年度）の一般会計予算についても、子育て関連施設や働く若い世代の定住化に向けた、新たな施策を推進してまいる所存であります。そして、限られた予算の中で知恵と工夫を最大限に発揮して、町民の安全・安心と生活の向上に資することができるような予算の配分に努めたところであります。

それでは、平成28年度予算の内容は、別添当初予算概要をお読み取り頂きたいと思っておりますので、ここに、平成28年度一般会計の当初予算の主な重点事項を申し上げます。

一般会計の総額は63億7,500万円であり、対前年度比3.23%減となっております。これは、町の人口減少が進む中、国勢調査の速報値算定により、普通交付税が減少に転じたもので、地方交付税全体として対前年度比2.62%減の23億9,652万4千円と見込んだためであります。次に、子育て世代の

定住化促進と支援のために、平成28年度から幼稚園の入園料・保育料を無償化することといたしました。現在も実施しております、18歳までの医療費無料化等と併せて、更に子育てし易い町と実感していただけることを期待しております。さらに寄附金であります、昨年12月から始めました、「ふるさと納税」であります。予算としては対前年度比、大幅増の1,300万円を見込んでおり、今後も町内の産品開発と産品掘り起しに努めながら、埴町を全国に発信すると共に、歳入確保に努めて参りたいと思っております。

次に、歳出についてであります。

はじめに総務費であります、老朽化していた川上四区の集会施設と併せ、消防車庫も新たに建設することとし、30,097千円を予算計上しております。これにより地域のコミュニティが今まで以上に活性化することを期待するものであります。また、地域おこし協力隊活動事業として12,976千円を計上し、地域活性化のため地域おこし協力隊、新規3名予定し、その活動を支援して参ります。

次に民生費においては、多世代交流センター整備事業として29,077千円を計上し、建設に係る実施設計業務委託を実施します。多世代交流センターは子育て世代の保護者の交流の場として、そして、あらゆる世代が交流・情報交換などをすることが出来る施設として整備して参りたいと考えております。また、こども園を整備するために、造成工事に伴う用地測量設計及び建築設計業務の委託料45,637千円を計上いたしました。これにより保育園待機児童の解消と保育園舎の老朽化問題の解消が図れると考えております。さらに、ウッドスタート事業として2,285千円を計上いたしました。平成27年度に埴町の木材を活用した安全な木製おもちゃが完成する予定であり、木育の推進及び林業の振興を目的として、新生児の誕生祝品として木製のおもちゃを贈呈する事業であります。

衛生費におきましては、医師確保対策事業として6,156千円を計上し、埴厚生病院の医師確保のための運営費等を負担して参ります。次に、これまで実施してきた母子保健事業を増額し11,384千円の計上をいたしました。今年度より不妊治療費（男女共）に対する助成も行うことといたしました。

次に、農林水産業費であります、元気なむら創生企業連携モデル事業に4,000千円を計上し、企業と農村地域が連携して行う元気なむらづくりに資する取組みに対し、補助金を交付し、農産物の販路拡大と新規就農者開拓に向けた取組みといたします。次にふくしま森林再生事業として449,900千円を計上し、森林整備、路網整備に取り組み、町内森林の価値を高めたいと思っております。林道開設事業には93,134千円を計上し、平成28年度で林道大日向線を全線開通し、事業完了を目指して参ります。

土木費では、町道維持補修事業に214,800千円を計上しました。これにより、路面損傷の著しい町道を優先的に維持補修して参ります。町道新設改良事業には、305,663千円を計上しました。工事としては、町道板庭田野作湯舟線改良工事、業務委託としては（仮称）川上東河内線橋梁詳細設計業務委託、中平和久線橋梁予備設計・用地測量設計業務委託に取り組んで参ります。橋梁維持事業には105,000千円を計上し、下植田橋、宮田橋、向橋の修繕工事を実施して参ります。次に、公営住宅整備事業として56,750千円を計上しております。定住促進住宅整備費は北原地内に木造2階建て、3DK、1戸あたり75㎡、1棟2戸の建設を計画しております。更に、子育て若者定住促進住宅整備費は、末広町地内に、子育て若者を対象とした町営住宅と住宅団地を計画し、用地の測量設計を実施するものであります。

次に教育費であります。放課後児童健全育成事業に14,289千円を計上し、共働き家庭支援として、小学校等での学童保育を実施します。なお、今年度より小学6年生まで対象として参ります。また、B&Gプール上屋改修事業として12,000千円を計上しております。B&Gプールの使用期間の延長を目的として、プール上屋の改修を行うものであります。

また、特別会計では、6会計合計で26億5,383万3千円、前年度比で0,5%、額にして1,317万円の増額となりました。増額の主な要因は、笹原財産区特別会計において、笹原財産区内の立木購入費を計上するものであります。また、介護保険特別会計において、施設入居者の増加に伴う納付金の増によるものであります。

以上、基本的考え方と新規事業を中心とする施策の概要を申し述べました。予算編成につきまして、人口減少と少子高齢化が避けられない現状を受け、各種政策により少しでも緩やかなものにするため、子育てや福祉に関する予算を優先的に確保し予算編成を行うとともに、町道をはじめとしたインフラの維持補修に努め、町民の皆様の安全・安心を確保するよう努力したものであります。

本議会は、平成28年度当初予算関係議案など41議案となりますが、いずれも重要な案件でございますので、よろしくご審議のうえ議決下さるようお願い申し上げます。今後とも、議会ならびに町民の皆様のご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

平成28年 3月 2日

埴町長 菊池基文

2

2